

令和 6 年度 県立土浦第三高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・学業と部活動の全てに力を注いでいるので、文武不岐がふさわしいと思う。 ・関係機関との連携・協力関係が築かれ、成果があげられていると思う。 ・文武両道、文武不岐の指導を推進し、生徒の広い視点と適切な判断力を育成する取組を行った結果、進路指導等の成果が見られた。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	・生徒の興味関心、能力、適正に応じた指導が展開され、充実した学校生活を送られている。 ・ICT活用を生徒の学力向上に結び付けていくための試行錯誤が必要 ・具体的方策に基づく取組が計画的に実施され、一定の成果が確認された。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	・教職員が現状をよく捉えて指導されていると思う。 ・十分な把握がなされている。 ・次年度に向けた主な課題を適切に把握できており、具体的な方向性についても認識できている。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・現在の課題に対する次年度の具体的な取組が示され、意欲がうかがえる。 ・課題の明確化と次年度の対策も適切である。 ・職員全員が協力しながら改善に取り組まれている。
5. その他（各学校の状況に応じて設定） 教職員の生徒への指導姿勢はどうか	☒ A 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	・進路実績から、課外学習や土曜学習などに力を入れていることが分かる。 ・生徒の活動実績（部活動の様子、進路状況）に反映されているものと思われる。 ・生徒の主体性を尊重し、個々の生徒の特性に応じた指導を実践している。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。